

学校経営推進費 評価報告書（最終）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立長野北高等学校 全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育自己診断での生徒の授業満足度、進路指導充実度の向上 ・ 希望進路決定率の向上 ・ 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上
計画名	長野北 ～体験し、考え、自己肯定感を高める授業の創造！～

2. 事業目標及び本年度の取り組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 自己肯定感を高める。</p> <p>(1) 授業改善を積極的に推進し、生徒の基礎学力を向上することにより、達成感を高める。</p> <p>ア 学校生活の基本となる授業規律を確立することにより、学力保障の基礎とする。</p> <p>イ 授業研究についての取り組みを積極的に展開し、教員の授業力の向上を図る。また、生徒の基礎学力の充実を図るとともに、社会において必要とされる力について認識し、自ら学ぶ意欲を育てるため、「分かる授業」・「楽しい授業」を実現する。</p> <p>ウ タブレット端末や大判プリンターなどを活用し、生徒が主体的に学習できるように、学習環境の充実を図るとともに、自己実現に向けて、主体的に取り組むことのできるよう、授業改善に取り組む。</p> <p>エ 実験や実習などを行ったり、発表の機会を設けるなど、生徒が体験から学ぶ機会を多く取り入れることにより、主体的に学ぶ姿勢や探究心を育む。</p> <p>オ 基礎学力診断テスト、学習支援クラウドサービス、朝学習などを連携し、生徒の学力向上に結び付けるように計画する。</p> <p>2 多様な進路希望をもつ生徒の希望進路を実現する。</p> <p>(1) 将来を見据えた進路実現に向けて、生徒の興味・関心、進路希望等に応じたカリキュラムマネジメントを行う。</p> <p>ア コース選択の多様性を確保し、多様な進路希望に対応できる体制を構築する。</p> <p>イ 社会の一員としての資質の向上を図るため、主権者教育、情報リテラシー、薬物乱用防止などの課題について学習する。</p> <p>ウ 生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じた進路選択ができるよう、SC や SSW などと連携を深め「チーム学校」としてきめ細かい指導を行っていく。</p> <p>(2) 進路指導計画を整理・拡充し計画的な進路指導を実現する。</p> <p>ア 計画的な進路指導を行い、進学・就職ともに生徒の希望の実現をめざす。</p> <p>イ 資格試験などに積極的に取り組む中で、社会において必要とされる力を認識するとともに自ら獲得できる生徒を育む。</p> <p>※ 就職希望者の決定率 100%をめざす。</p>
事業目標	<p>ICT の活用や実験・実習等を通じて、生徒が主体的に体験し、考えることによる「分かる授業」「楽しい授業」を実現し、生徒が積極的に物事に取り組み自らの個性を伸ばすことにより、自己肯定感を高める。また、自らの個性を理解し将来について考えることのできる生徒を育て、希望進路の実現を図る。</p> <p>① 授業研究 PT を中心に、生徒が主体的に体験し、考える授業に向けて、「ICT 活用授業」をはじめ、授業研究の成果を校内で共有できるシステムの構築を図る。</p>

	<p>② 大学進学希望者に向けて図書室に自習スペースを設置し、ICTを活用した「学びの場」を設定する。</p> <p>③ 就職志望者に向けて、企業の情報や自らの適正について検索できるシステムを構築する。以上により、授業アンケート及び学校教育自己診断の「授業（ICT活用を含む）」および「進路指導」に関する設問の満足度をすべてにおいて3年間で80%以上にする。関西私立中堅大学への進学者を5名以上、学校斡旋による就職内定を100%にする。また、進路未決定者を0にする。</p>										
<p>整備した設備・物品</p>	<table border="0"> <tr> <td>Apple iPad + ケース</td> <td>42台</td> </tr> <tr> <td>タブレットスタンド</td> <td>18台</td> </tr> <tr> <td>無線LANアクセスポイント</td> <td>18台</td> </tr> <tr> <td>カラーレーザープリンター</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>収納保管庫（21台収納）</td> <td>2台</td> </tr> </table>	Apple iPad + ケース	42台	タブレットスタンド	18台	無線LANアクセスポイント	18台	カラーレーザープリンター	1台	収納保管庫（21台収納）	2台
Apple iPad + ケース	42台										
タブレットスタンド	18台										
無線LANアクセスポイント	18台										
カラーレーザープリンター	1台										
収納保管庫（21台収納）	2台										
<p>取組みの 主担・実施者</p>	<p>主担：「学力向上PT」（パッケージ研修、ICT活用研究、授業公開月間などを担当） 取組みの実施者：全教員</p>										
<p>本年度の 取組内容</p>	<p>1年めに整備した設備を活用し、以下の取組みを行った。</p> <p>① 学力向上PTが中心となり、授業公開月間を設定した。</p> <p>② 生徒に1人1台iPadを活用できる授業を複数教科で実施し、主体的に体験・思考する授業を実践した。</p> <p>③ ICT機器の本校での活用についてさらに研究を行い、学校全体で共有した。ICTを活用することで業務量の見直し、授業改善を推進した。</p> <p>④ 学校情報クラウドシステムを活用し、生徒・保護者への連絡を迅速に行い、連携を深めた。</p>										
<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<p>【授業アンケート・学校教育自己診断における肯定的回答率】</p> <p>① 「プロジェクターやコンピュータを活用した授業が行われている」項目 80%以上</p> <p>② 「授業では、実験や実習、発表の機会がたくさんある」項目 80%以上</p> <p>③ 「授業が分かりやすく楽しい」項目 80%以上</p> <p>④ 「学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」項目 90%以上</p> <p>【進路実績・学力診断テスト】</p> <p>⑤ 中堅私立大学受験者数 15名</p> <p>⑥ 学校斡旋就職内定者率 100%</p> <p>⑦ 四年制大学・短期大学進学希望者の合格率 90%</p> <p>⑧ 進路未決定者数ゼロをめざす</p>										
<p>自己評価</p>	<p>【授業アンケート・学校教育自己診断における肯定的回答率】</p> <p>① 「プロジェクターやコンピュータを活用した授業が行われている」項目 80%以上 (H29年度 44% H30年度 74% R1年度 91%) …94% …………… (◎)</p> <p>② 「授業では、実験や実習、発表の機会がたくさんある」項目 80%以上 (H29年度 51% H30年度 58% R1年度 70%) …86% …………… (◎)</p> <p>③ 「授業が分かりやすく楽しい」項目 80%以上 (H29年度 49% H30年度 53% R1年度 64%) …82% …………… (◎)</p> <p>④ 「学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」項目 90%以上 (H29年度 58% H30年度 74% R1年度 83%) …88% …………… (△)</p> <p>【進路実績】</p> <p>⑤ 中堅私立大学受験者数 (H30 3名, R1 2名) 1名 …………… (△)</p> <p>⑥ 学校斡旋就職内定者率 (H30 95.1%, R1 95.1%) 92.7% …………… (△)</p> <p>⑦ 四年制大学・短期大学合格率 (H30 81%, R1 98%) 100% …………… (◎)</p> <p>⑧ 進路未決定者数 (H30 4名, R1 8名) 8名 …………… (△)</p>										

事業のまとめ

成果の検証に使った授業アンケート・学校教育自己診断の項目については、4項目中3項目が評価指標を超えている。特に「教材活用」の項目においては、94%の生徒が肯定的な回答をしており、本事業で導入した iPad や無線 LAN を授業等で有効に活用できていることを示している。また、「授業では、実験や実習、発表の機会がたくさんある」の項目については、昨年度より 16pt、「授業は分かりやすく楽しい」の項目については、昨年度より 18pt 上昇しており、学力向上 PT が中心となって推進してきた授業改善の取組みが成果を上げたことがうかがえる。

11月にICT活用の先進校の視察を実施。府内私立校1校（8人）、北海道市立校1校・私立校2校（4人）、滋賀県私立校1校（5人）。この内、滋賀県私立校への視察に本事業の旅費を活用した。視察後には、教員全体を対象に、ICT活用のための研修を兼ねた報告会を行い、ICTを活用した「わかる授業」「楽しい授業」の実践につなげることができた。

コロナ禍の中、進路・就職に関する項目で評価指標を満たすことができなかったが、本校で整備した環境と本事業で整備した環境（ハード・ソフトを含む）を、授業や研修、学校行事等においてに効果的に活用することができた。

3. 事業費報告

今年度事業費総額	45,000	円
----------	--------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

	科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額	
積算内訳	1 報償費	1					
		2					
		3					
						小計	0
	2 旅費	1		学校視察及び研修旅費	¥9,000	5	¥45,000
		2					
		3					
						小計	¥45,000
	3 消耗需用費	1					
		2					
3							
					小計	0	
4 維持需用費	1						
	2						
	3						
					小計	0	
5 役務費	1						
	2						
	3						
					小計	0	
6 委託料	1						
	2						
	3						
					小計	0	
7 使用料 及び賃借料	1						
	2						
	3						
					小計	0	
8 備品購入費	1						
	2						
	3						
					小計	0	
9 工事請負費	1						
	2						
	3						
					小計	0	
10 負担金・補助 及び交付金	1						
	2						
	3						
					小計	0	
					合計	¥45,000	